創価大学
糖鎖生命システム融合研究所 第34回 コロキウム

マウスを用いた生体機能研究の二つのアプローチ
― 糖転移酵素遺伝子ノックアウト解析と宇宙環境を利用した医学研究 ―

講師

工藤 崇 先生

筑波大学 医学医療系

解剖学発生学研究室　准教授

日付：2026 年 2 月 6 日（金）

時間：16時35分～18時05分

場所：E201 教室

講演概要

糖タンパク質に付加されるムチン型糖鎖（*O*-GalNAc糖鎖）は、生体内で重要な役割を担うと考えられているが、その機能には未解明な点が多い。ムチン型糖鎖の合成に関わる糖転移酵素遺伝子および関連遺伝子を欠損させたマウスを用い、組織特異的な表現型解析から糖鎖の生理的役割を明らかにしてきた。本セミナー前半では、この遺伝子改変マウス解析から見えてきたムチン型糖鎖の機能を紹介する。後半では、国際宇宙ステーション「きぼう」で約1か月間飼育したC57BL/6Jマウスを用い、宇宙環境が骨格筋可塑性に及ぼす影響とその分子基盤について紹介する。

問い合わせ先

太田隼人：hayato@soka.ac.jp

研究所HP：https://www.soka.ac.jp/glycan/